	Mir	nami Kyı	ushu	University	Syllabus		
シラバス年度	2021 開講キャンパス 都城キャ		都城キャンパス	開設学科	開設学科 子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	乳児保育Ⅱ [In	fant child care 2]			実務経験 教員担当	アクティフラーニング	
科目コード	750166	授業形態	講義	単位数	1	配当学年	3年次
教員氏名	山田 裕司				学位授与の方針との関連	DP1(2) DP2	
授業概要	本授業の目的は、保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭等)に求められる役割、資質・能力、社会的責任・倫理観についての学びを通して、保育者として自覚や意欲を養うことです。【態度・志向性の育成】保育者の基本的な資質・能力には、「子どもを理解するカリ、「子どもの育ちを援助する方法」、「保護者や家庭・地域との連携・協働」があります。授業ではこれら資質・能力を規定する法制度を解説するとともに、実際の子どもたちの活動場面や保育所等の施設にてこれら資質・能力が必要とされる場面を事例として提示します。また、授業期間中において学ぶことはできても、身につけることができない資質・能力については、2年次以降の関連する授業科目や諸活動等を提示していきます【生涯学習力の育成】。						
関連する科目	保育者論、子ども家庭支援論、乳児保育Ⅰ、子育て支援						
授業の進め方と方法	毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。 授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠(子どもの発達段階の特徴など)」に ついて講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前 半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。						
授業計画	1. 保育者論 保育者である「保育士」「幼稚園教諭」「保育教諭」の勤務施設・職務内容など、さらには、 保育者に共通して求められる資質・能力について学びます。 2. 信頼・自信・自立の構築 — 自己制御と社会的発達 3. 信頼・自信・自立の構築 — 子どもの選択と自立した遊びの支援 4. 信頼・自信・自立の構築 — 小グループ・個別のかかわり・保育者の位置取り 子どもたちとの関係構築に向けて求められる資質・能力について、子どもたちの活動場面別に学びます。 5. 言葉・コミュニケーションを支え、広げる一子ども同士の会話を支える 6. 言葉・コミュニケーションを支え、広げる一保育者が子どもの声を聴くこと 7. 言葉・コミュニケーションを支え、広げる「感受性豊かな応答子ども同士、保育者と子ども、保育者間のコミュニケーションの重要性について学びます。 8. 学びと批判的思考を支える一好奇心と問題解決の支援 9. 学びと批判的思考を支える一調べること子どもたちの学びを支える環構成について、教材や活動内容別に学びます。 11. 学び・言葉の発達を評価する一評価の活用 12. 学び・言葉の発達を評価する一評価の活用 12. 学び・言葉の発達を評価する一言葉の発達に関する評価子どもたちの成長・発達を評価(振り返る)手法や、その結果を活用した改善方法について学びます。 13. 保育者にとっての快適環境 14. 保護者とのセンスある会話 15. 保育者の個性を活かす保育者がより快適に働く環境に関するの法制度や、それを踏まえた先進的な事例について学びます。						
授業の到達目標	保育者に求められる資質・能力を学び、 1. 保育・教育者としての自覚・意欲を身につける。【態度】 2. 保育・教育書と「向けた自己の課題を把握する。【思考・判断】 3. 保育・教育者として子どもを理解し、育ちを援助する方法を学ぶ。【知識・技能】						
授業時間外の学修	授業中に次の授業内容(予習箇所)を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。						
課題に対する フィードバック	小テスト、レポー 却及び解説をしる	ト、最終試験は記 ます。	严価後、返	評価方法	1)学習意欲	に基づいて評価し (授業中)ー50点 及びレポートー20; -30点	
テキスト	『乳児保育』基本保育シリーズ16(2,160円税込)、中央法規 著者:公益財団法人児童育成協会=監修/寺田清美、大方美香、塩谷香=編集 発行日:2015年12月						
参考書							
備考							